

<はじめに 会長挨拶>



校友会設立後、皆様からの会費により、学生支援事業では緊急支援奨学、国際交流奨励、海外派遣奨励、課外活動等の支援として、これまでに2千5百万円を超える額を学生に支援することができました。

また、校友間交流支援事業として、ホームカミングデー等も開催してまいりました。この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

これからも、佐大生が活き活きとして活躍できるよう支え、支援していくことが佐賀大学校友会の使命であり、ひいては佐賀地域の振興に資するものと考えています。

今後、佐賀大学校友会は、卒業生、同窓生、教職員、在学生の保護者の皆様をはじめ、佐賀大学を取り巻く方々や企業・団体の皆様を含めた校友の組織づくりに取り組んでまいります。

会員の皆様におかれましては、引き続き佐賀大学校友会事業にご理解をいただくとともに、格別のご支援を賜りますことをお願い申し上げます。

佐賀大学校友会

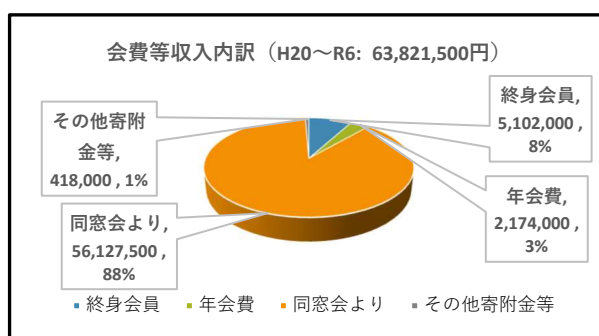
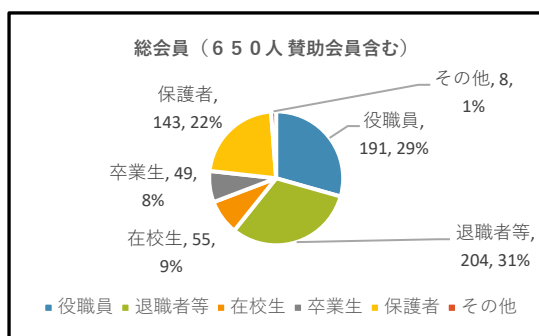
会長 野出 孝一

<会員及び会費等の状況>

令和6年度末における累計会員数は、終身会員289名、年会費会員360名、賛助会員1名、合計650名です。

また、同窓会様を校友会正会員と規定（佐賀大学校友会会則第6条第2項）して、毎年度、学部新入生で同窓会への入会者一人当たり2,500円を校友会会費として同窓会様からいただいています。

これまでの会費等収入の総額は、63,821千円であり、その88%の56,127千円を同窓会様からいただいています。



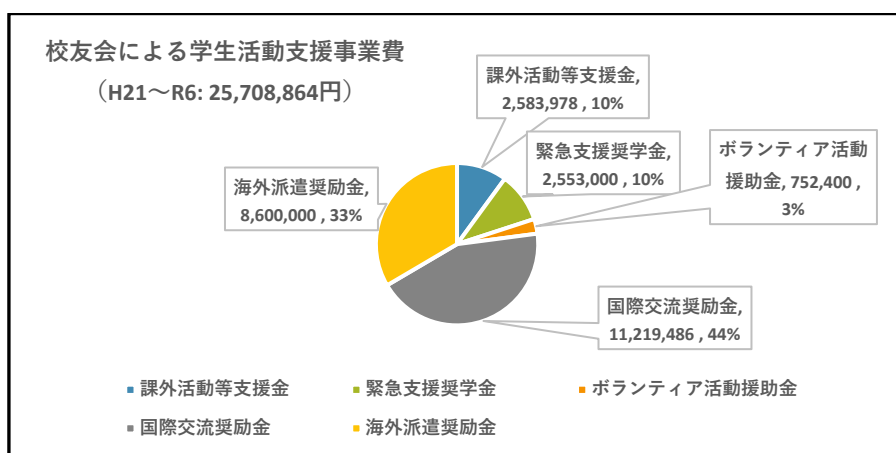
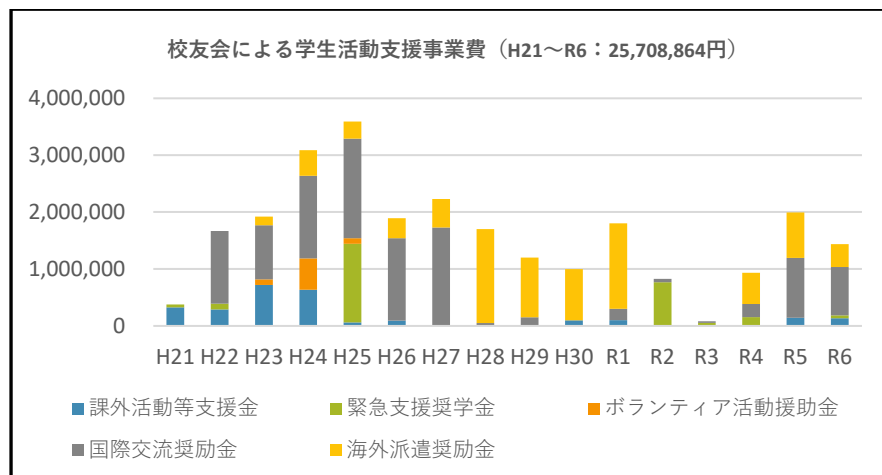
<支援事業の実施状況>

これまでの会費等収入により実施した校友会の事業は、大きく学生活動支援事業と校友間交流支援事業になり、これまでの支援総額は、34,083,570円です。

そのうち学生活動支援事業（支援総額25,708,864円）の内訳は、緊急支援奨学金（支援額2,553,000円）、課外活動支援金（支援額2,583,978円）、ボランティア活動援助金（支援額752,400円）、国際交流奨励金（支援額11,219,486円）、海外派遣奨励金（支援額8,600,000円）です。

また、校友間交流支援事業（支援総額8,374,706円）の内訳は、ホームカミングデーへの支援（支援

額3,675,753 円)と海外版ホームカミングデーへの支援(支援額4,698,953 円)です。



- ・課外活動等支援金 …学生の優秀な部活動等について支援
- ・緊急支援奨学金 …家計急変のため、修学継続が困難な学生のための支援
(平成25年度女子寮火災事故に伴う支援46名1,380,000円を含む)
- ・ボランティア活動援助金 …学生のボランティア活動のための支援
- ・国際交流奨励金 …学生の国際的な活動のための支援
- ・海外派遣奨励金 …学生の海外留学のための支援

令和6年度学生活動支援事業報告

- ・課外活動等支援金 3件 133,080 円
トライアスロン部 個人 1名(国内大会、国際大会の2件)、
医学部漕艇部 団体 1団体(国内大会)
- ・緊急支援奨学金 1名 51,000 円
(農学部1名)
- ・海外派遣奨励金 3名 400,000 円
(教育学部学校教育課程2名、経済学部1名)
- ・国際交流奨励金 17名 850,000 円
(医学部2名、理工学部6名、理工学研究科博士前期課程6名・博士後期課程2名、
鹿児島大学大学院連合農学研究科1名)

＜校友間交流支援事業の実施状況＞

これまでの校友間交流支援事業（支援総額8,374,706 円）の内訳は、ホームカミングデーへの支援（支援額3,675,753 円）と海外版ホームカミングデーへの支援（支援額4,698,953 円）です。

なお、この海外版ホームカミングデーの実施を契機に、中国、ベトナム、インドネシア、マレーシア、バングラデシュ、タイに本学の海外同窓会が設立されました。

令和7年度においては、第14 回ホームカミングデーは12月13日（土）午後開催予定で、海外版ホームカミングデーは11月2日に中国・上海において開催しました。

令和6年度校友間交流支援事業報告

○第13回佐賀大学ホームカミングデー（令和6年10月26日開催）

10月26日（土）、「第13回佐賀大学ホームカミングデー」を開催しました。

今回は、卒業生、名誉教授、同窓会の役員及び本学の役職員・在校生等70名が参加しました。

児玉浩明学長から歓迎の挨拶、大学の現況報告の後、山田直行佐賀大学同窓会会長の挨拶がありました。

それから佐賀大学発ベンチャー講演会として、合同会社 sunapp の代表社員 高津汰耀 氏、株式会社 NEXS の代表取締役社長 梶原 薪 氏により会社の事業紹介や今後の展望等の講演がありました。

続いて、佐賀大学校友会の事業報告の後、支援事業により大韓民国に留学した在校生による体験報告がありました。

また、式の前には「佐賀大学図書館月間 2024」の展示会、「幕末の佐賀と学問ー明治維新への道ー」を閲覧するキャンパスツアー、式の後の懇談会では、日本舞踊による歓迎の舞や来場者と佐賀大学役員等との質疑応答による意見交換を行いました。



学長による近況報告



参加者集合写真

○海外版ホームカミングデーin ベトナム・ハノイを開催（令和6年12月15日開催）

第15回目となる海外版ホームカミングデー（HCD）を、12月15日、ベトナム・ハノイ市内で開催しました。

本学では、海外協定校との連携強化及び帰国留学生等の本学関係者のネットワーク構築を目的として、2011 年より帰国留学生をはじめとした佐賀大学関係者が集い、互いに交流を深める海外版ホームカミングデーを実施しており、ベトナムでの開催は7年ぶり3回目です。

当日は、大島一里理事（企画・将来計画担当）をはじめ、在ベトナム日本国大使館や佐賀県等の来賓の方々、大学間交流協定校の教職員、そして元留学生 23 名を含む、総勢 38 名が参加しました。

冒頭で、兒玉学長の挨拶が大島理事によって代読され、出席された関係者に感謝の意が伝えられるとともに、同会を通じて本学と元留学生等の関係者の絆が深まり、本学とベトナムとの新たな結びつきが実現することへの期待が伝えられました。そして、来賓の伊藤直樹在ベトナム日本国特命全権大使、ベトナム国家大学ハノイ校経済大学のグエン・アン・トゥ副学長より同会開催への祝辞をいただきました。さらに、佐賀県内の企業である有限会社実松製作所の実松孝一郎社長よりベトナム・ドンナイ省へ進出した事業の紹介を、佐賀県の西浦聡子地域交流部多文化共生さが推進課長からは多文化共生社会の実現に向けた佐賀県の様々な取り組みを、三島副学長からは「佐賀大学のいまとこれから」をテーマに本学の新施設や研究実績、留学生サポートなどを紹介しました。

ベトナムの同窓会からは代表して、同窓会長グエン・ドク・フウィ氏、副会長ブイ・ディン・タン氏から相互連携の強化の意向が示されました。最後には三島副学長から閉会の辞が述べられ、再開を期して盛会のうちに閉会となりました。

今回の HCD の開催により、今後、ベトナムの大学との留学生や研究者の交流促進が期待されます。



参加者集合写真

佐賀大学校友会では、賛助会員になっていただける企業様・団体様を募集しています！！

【問い合わせ先】

佐賀大学校友会事務局

〒840-8502 佐賀市本庄町 1（法人本部棟3階）

TEL 0952-28-8390

ホームページ <https://koyukai.admin.saga-u.ac.jp/>

会費

- 正会員（個人）20,000 円（終身会員）
2,000 円（年会費）※2 万円に達した場合は、終身会員になります。
- 賛助会員（団体に限ります）
1 口 50,000 円

払込方法

- 現金または郵便局振込にてお願いします。
 - ・現金の場合は、佐賀大学校友会事務局にて受領いたします。
 - ・郵便局の場合は 振替口座／01760-049425
振替名義／佐賀大学校友会
（振込料金は、校友会で負担いたします。）